

堀川ほりかはの水上は二流あり、其一は鴨川かもがはの枝にして、上京にては人家の下を流れあるひは顕れ、一条戻橋もとりばしの下にて合す是を小川といふ、又一流は鷹峯たかみねより出て今宮いまみやの東を流れ、名を若狭川わかさがはといふ、共に戻橋もとりばしの下にて合し、南へ流れ、東寺とうじを経かみとて上鳥羽かみとぼにおいて鴨川かもに入。

詞花 水上はさだめてければ君が代にふたゝびすめる堀川ほりかはの水

曾祢好忠